

第 18 回新潟県社会教育研究大会糸魚川大会参加報告

新潟市社会教育委員 山田久美子

日時：平成 30 年 10 月 17 日（水）10 時 30 分～16 時

会場：糸魚川市ふれあいセンター「ビーチホールまがたま」 参加者数：186 人

研究主題：「まちづくりにおける社会教育の役割」

【開会式・表彰式】永年勤続の委員 10 名が受賞

【講演】「文化・歴史から見る糸魚川大火」 糸魚川市教委文化振興課 榊 正喜様

H28 年 12 月 22 日 糸魚川駅北大火 147 棟・約 4 万㎡焼損。糸魚川は北国街道と松本街道沿いに宿場町として栄え、江戸時代（240 年前）から 100 棟以上被害のあった大火が 14 回。昭和初期までは 13 年に 1 回の割合で大火が起き、一代のうちに三度大火に遭った人も。糸魚川ならではの逸話や慣習も。幾度となく大火に遭っても、防火樹の植栽、美しい景観の街並みの形成など、その都度再建に取り組んできた地域の歴史について、分かりやすく紹介していただいた。

【まち歩き】被災エリアを案内していただいた。復興は 6、7 割とのこと。被災直後は「火元地点から海が見えるほど、焼けて何もなくなった」というが、新しい住宅や店舗がどんどん建設されている。ところどころに残る広い空き地で、被災した場所であることを知るような感じ。住宅再建の難しい人などが住み慣れた地域に戻ることができるよう、市営住宅の建設が進められている。

【分科会】

1. 新発田市の社会教育の取り組みと社会教育委員（新発田市）47 人
2. ALL刈羽で子どもを育てる・ともに成長する（刈羽村）67 人
3. 地域活性化のために立ち上がった七人のサ・ム・ラ・イ（弥彦村）70 人

【第 1 分科会】発表内容は ①社会教育委員と公民館運営審議会委員との連携・交流 ②青少年宿泊施設「あかたにの家」の活用 ③土曜学習教室の実施 ④社会教育の地域での実践 の 4 項目。発表後、質疑、参加市町村の取り組み状況紹介、助言。

社教委と、公運審委員や教育委員との意見交換や課題の共有についての状況紹介が多数。助言者によれば、県内の社教委の 62% が公運審を兼務（妙高市、十日町市、胎内市など）。公民館の課題は即ち社会教育の課題 ①合併による統廃合 ②首長部局への移管 ③指定管理者への移行 ④職員の減少。これらの課題の克服に向けたキーワードは、地域全体で子どもたちの成長を支える活動である「地域学校協働活動」。学校を核とした地域づくりを目指して、学校と地域の連携・協働に社会教育委員の力を。社会教育委員は、地域のネットワークづくり、絆づくりで、行政、学校、団体、サークルをつなぐ役割を担ってほしい。一人ひとり行動する委員としての活躍を期待する。

※ 次年度の県大会は佐渡市で開催とのこと